

一一四二番

命いのちを 幸さきく良よけむと 石いはばし走る 垂たるみ水のみつ水を むす
びて飲のみつ

一一四三番

さ夜よふけて 堀ほりえこ江え漕こぐなる 松まつらぶね浦うら舟ふね 梶かぢの音おとたか高たかし
水み脈を速はやみかも

一一四四番

悔くやしくも 満みちぬる潮しほか 住すみのえ吉のの 岸きしの浦うら廻みゆ
行ゆかましものを

一一四五番

妹いもがため 貝かひを拾ひりふと 千ちぬ沼ぬの海うみに 濡ぬれにし袖そで
は 干ほせど乾かわかず